

令和8年度 学校経営方針

学校教育目標

「自分の力を信じ 目標に向かって たくましく生きる 持田っ子の育成」

1 目指す学校像

笑顔があふれ 楽しくて 幸せを感じられる 小学校 = 持田 “笑楽幸(しょうがっこう)”

- 誰もが自己肯定感を高め ありのままの自分が認められる場に (こどもを大切に作る学校)
- こどもの成長を通して 家庭の笑顔が増える場に (保護者と共に成長する学校)
- 地域に開かれ 地域と連携し 地域の誇りとなる場に (地域と協働する学校)
- 教職員にとって 互いに尊重し合い 成長できる場に (教職員がやりがいを感じる学校)

2 めざすこども像

- も 持っている学力をさらに伸ばそうとする子 (確かな学力)
 - ・主体的に取り組む力 ・自分で考える力 ・計画を立てて学ぶ力 ・方法を工夫して解決する力
- ち 挑戦する気持ちを持ち、得意なことを高めていこうとする子 (心身の健康)
 - ・粘り強く取り組む力 ・目標を立てる力 ・自分の成長を振り返る力
- だ 誰に対してもやさしい心を持ってかかわろうとする子 (豊かな心)
 - ・他者と対話する力 ・命や人権を大切に作る心 ・互いの思いや立場を考えて行動する力

3 めざす教職員像

- 人権感覚を磨き続ける職員
- こどもを認め、励まし、伸ばす職員
- わかる授業づくりに努める教員
- 温かい人間関係をつくり組織人として協働する職員

4 学校経営の重点

(1) こどもを大切に作る

～誰もが自己肯定感を高め ありのままの自分が認められるために～

- ① 自分もまわりの人も大切にし、やさしい心を持ってかかわろうとする態度を育てる【人権教育】
 - ・人権への理解を深めるとともに、人権感覚を高める活動を通して、自他を大切に作る心を育む
 - ・温かい人間関係を構築し、お互いを尊重し認め合う、安心できる集団づくり(心の“オアシス運動”)
 - ・こども一人一人が大切にされていることを実感できる、教職員の姿勢と学校風土をつくる
- ② わかる・できる・楽しいを実感し、確かな学力を育成する【学力向上】
 - ・こどもの内発的動機が高まる課題や活動を工夫し、主体的に学習する力を育成する
 - ・温かい人間関係に支えられた学び合う授業を通して、対話力や確かな学力を育成する
 - ・ICT 機器を活用し、効果的な指導や個に応じたきめ細やかな指導につなげる
- ③ 特別支援教育の充実を推進する【特別支援教育】
 - ・交流学习、発表活動、障がい理解教育等を通して、互いに認め合い、学び合う教育活動を進める
 - ・こども一人一人の教育的ニーズを把握し、個に応じた支援を充実させる
 - ・校内研修を充実させ、共生社会の実現に向けた教職員の指導力向上を図る
- ④ 本に親しみ、豊かな心を育てる【図書館活用教育】
 - ・学校図書館をはじめとする読書環境を整え、こどもの読書活動への意欲を育む
 - ・朝読書や読み聞かせ等、多様な読書活動を推進し、想像力や豊かな心を育てる
 - ・主体的に追求する活動を通して、情報活用能力や思考力・判断力、表現力を育てる

(2) 保護者と共に成長する

～こどもの成長を通して 家庭の笑顔が増えるために～

① 発達支持的生徒指導の確立を図る【全てのこどもの幸せを支える生徒指導】

- ・こどもの成長、幸せを願い、伴走する生徒指導を家庭や地域と連携して取り組み、生きる力を育む
- ・家庭学習の習慣化を家庭と連携して取り組み、こどもの学ぶ力を育成する
- ・生徒指導実践上の視点を意識した教育活動
 - (1) 自己存在感の感受
 - (2) 共感的な人間関係の育成
 - (3) 自己決定の場の提供
 - (4) 安全・安心な風土の醸成

② ふるさと・キャリア教育を推進する【ふるさと・キャリア教育】

- ・キャリア教育、ふるさと教育の実践を通して、夢を育み、実現に向かって努力する力を育成する
- ・様々な人々と共に活動することを通し、対話力や多様性を尊重する態度、国際感覚を育成する

(3) 地域と協働する

～地域に開かれ 地域と連携し 地域の誇りとなるために～

① 開かれた学校づくりを推進する【学校運営協議会】

- ・保護者や地域住民を代表する運営委員の学校経営へ参画や支援、協力を促進する
- ・学校の情報を積極的に発信することを通して、本校教育について理解を求める
- ・保護者や地域との連携を密にして信頼関係を築き、一体となってこどもの成長を支える

② 地域とのつながりを大切にしたふるさと教育を推進する【地域学校協働本部事業】

- ・地域学校協働本部事業（地域講師、地域ボランティア）を活用し、ふるさと教育の充実を図る
- ・地域に暮らす人とのかかわりを通して、実感の伴ったふるさとへの理解と愛着を深める
- ・地域行事や地域の活動に積極的に関わり、学校と地域との信頼関係を深める

(4) 教職員がやりがいを感じる

～教職員にとって 互いに尊重し合い 成長できるように～

① 授業力の向上に努める【学び続ける教職員】

- ・主体的、対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に取り組む
- ・授業の基盤となるこどもたちの人間関係づくりや学級風土づくりの工夫に取り組む

② 児童理解・児童支援に努める【こどもの側に立つ児童理解】

- ・日々の学校生活の中で常に児童理解に努め、抱えている背景や課題をとらえ支援する
- ・こどもの背景をとらえ、教職員がチームとして連携してこどもの支援に取り組む
- ・外部機関と相談、連携をし、専門的な意見を聞き、対応する

③ 組織的な取組を推進する【組織力の強化】

- ・教職員一人一人が持ち味と個性を發揮し、互いに学び合う同僚性のある関係づくりに努める
- ・教職員一人一人の課題を共有し、学年部や各主任、各委員会等が一つの方向性を持って対応する
- ・こどもの安心安全を第一に考え、危機管理体制を整え、様々な状況に連携して対応する